

漢字の書 楷書

～唐の四大家の書に学ぶ～

九成宮醴泉銘

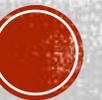
臨書ってなに？

昔の古典や古筆をお手本にして、
その技法を学ぶこと！



《本時の目標》

九成宮醜泉銘の
字形や用筆の特徴を発見し、
厳正な書を書こう！



『九成宮醴泉銘』 について

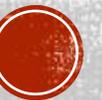
《時代》 唐時代

632年

私が欧陽詢だ

《筆者》 欧陽詢

76歳の時の書



欧陽詢ってどんな人？

博学 . . . ひろく学問に通じている

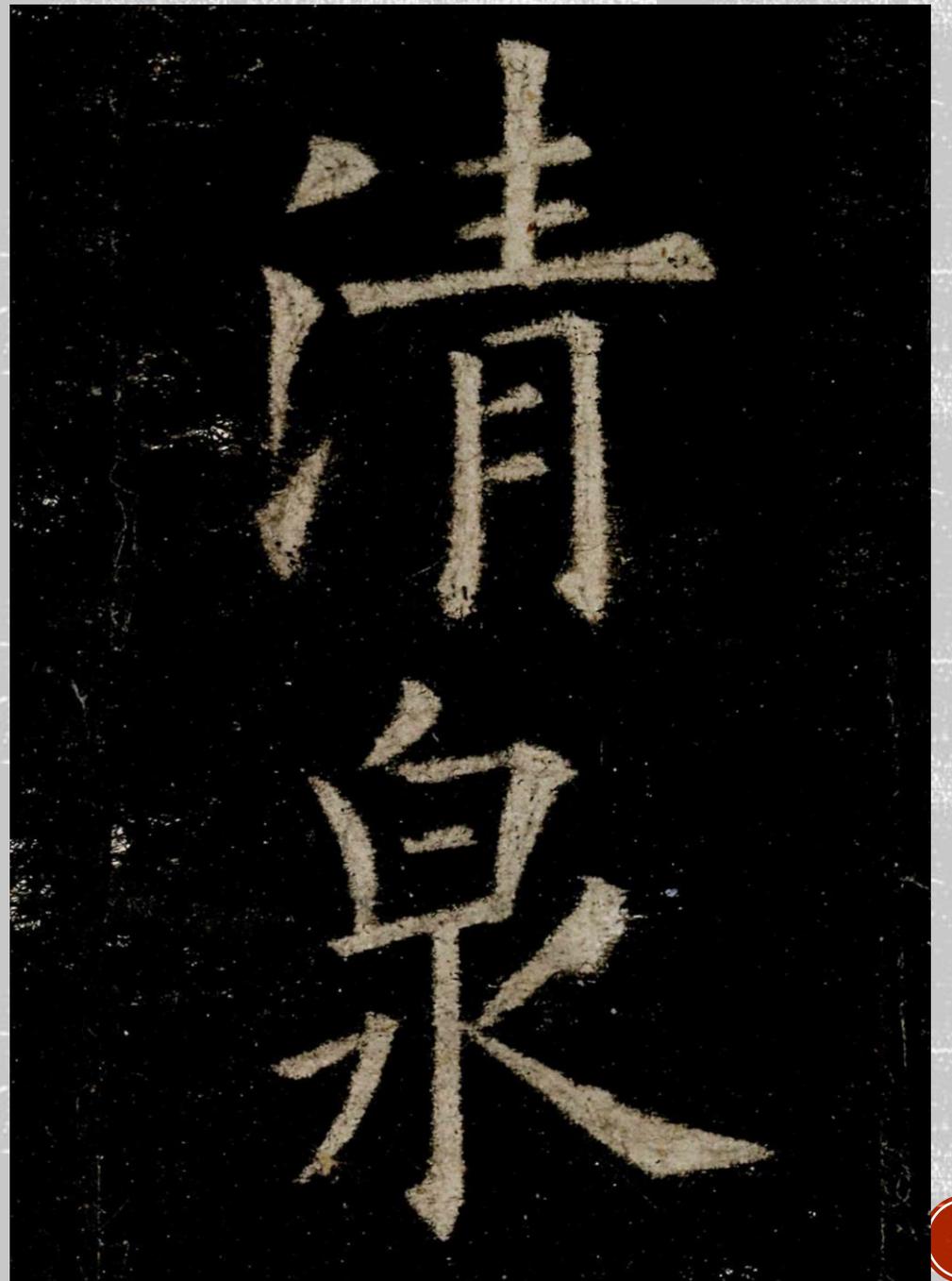
聡明 . . . 頭が良く道理に通じている

唐の初代皇帝高祖から官職に抜擢され、太宗の下では厚い信頼を受け、宮廷内の教育係として**貴族や高官の子弟たちの書の指導**を行っていた！



☆臨書をしよう！

～『清泉』を書こう～



鑑賞ポイント



☆鑑賞ポイント

①字形

縦長



雨



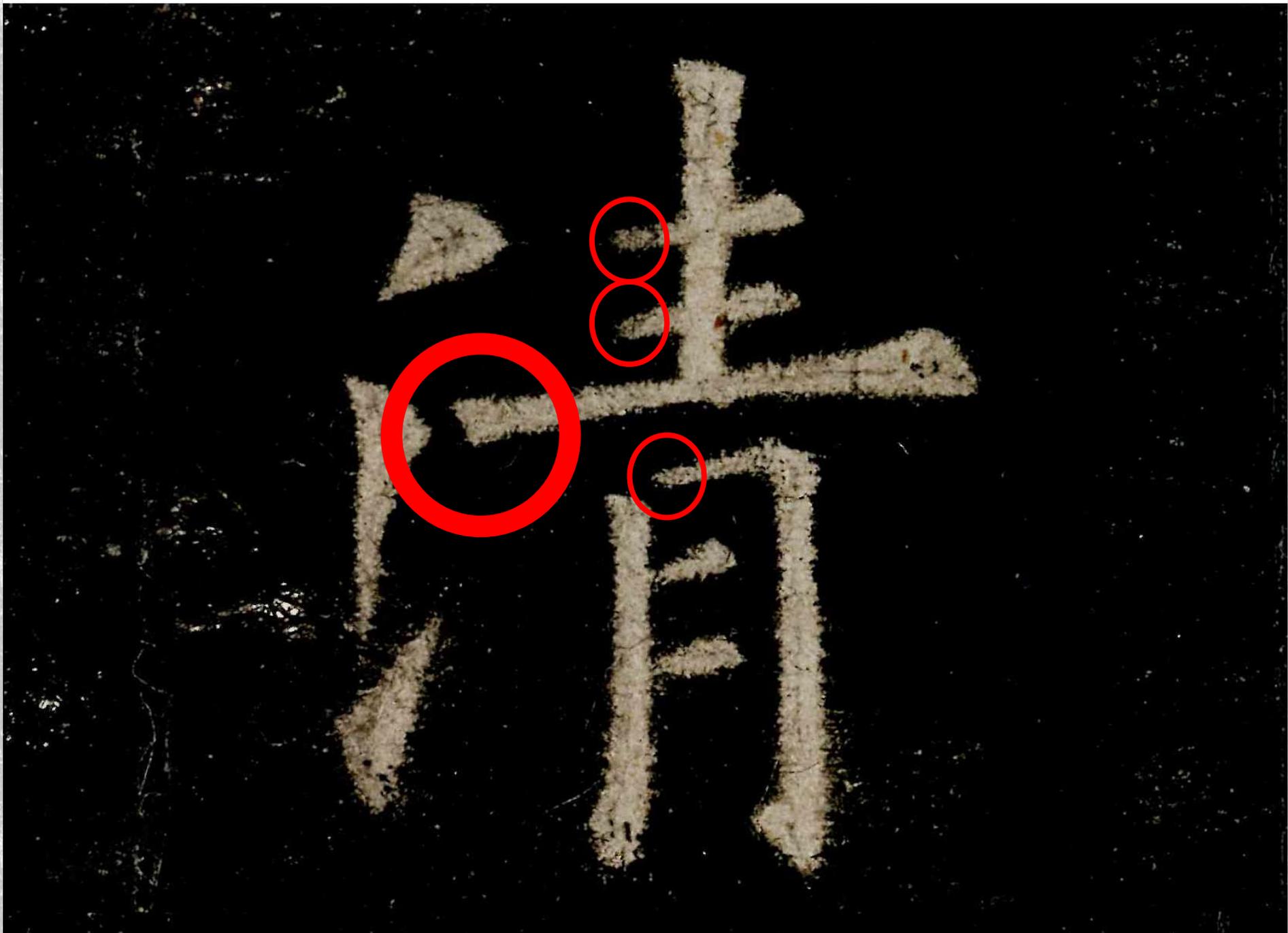


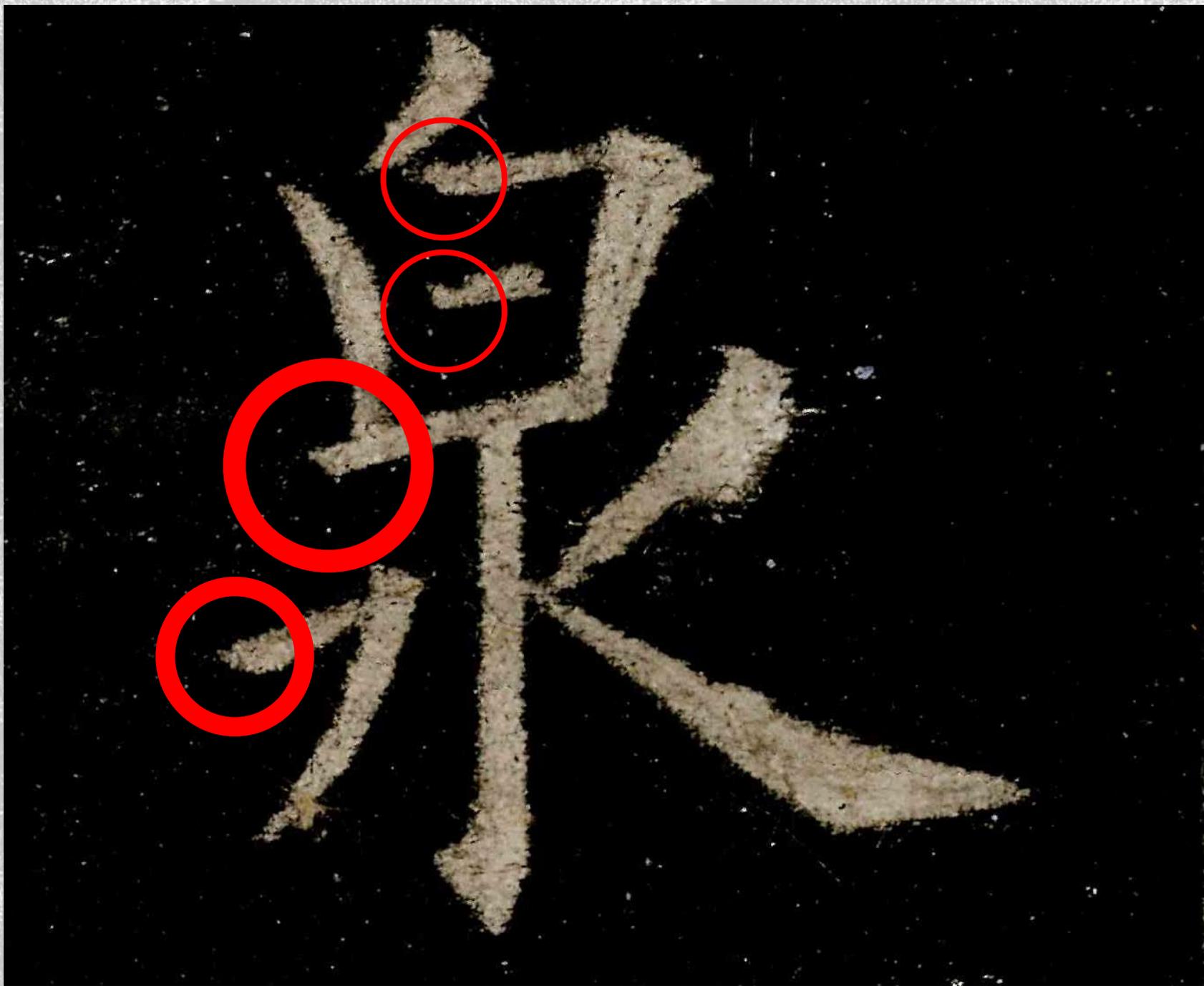
☆鑑賞ポイント

②起筆の角度

45度





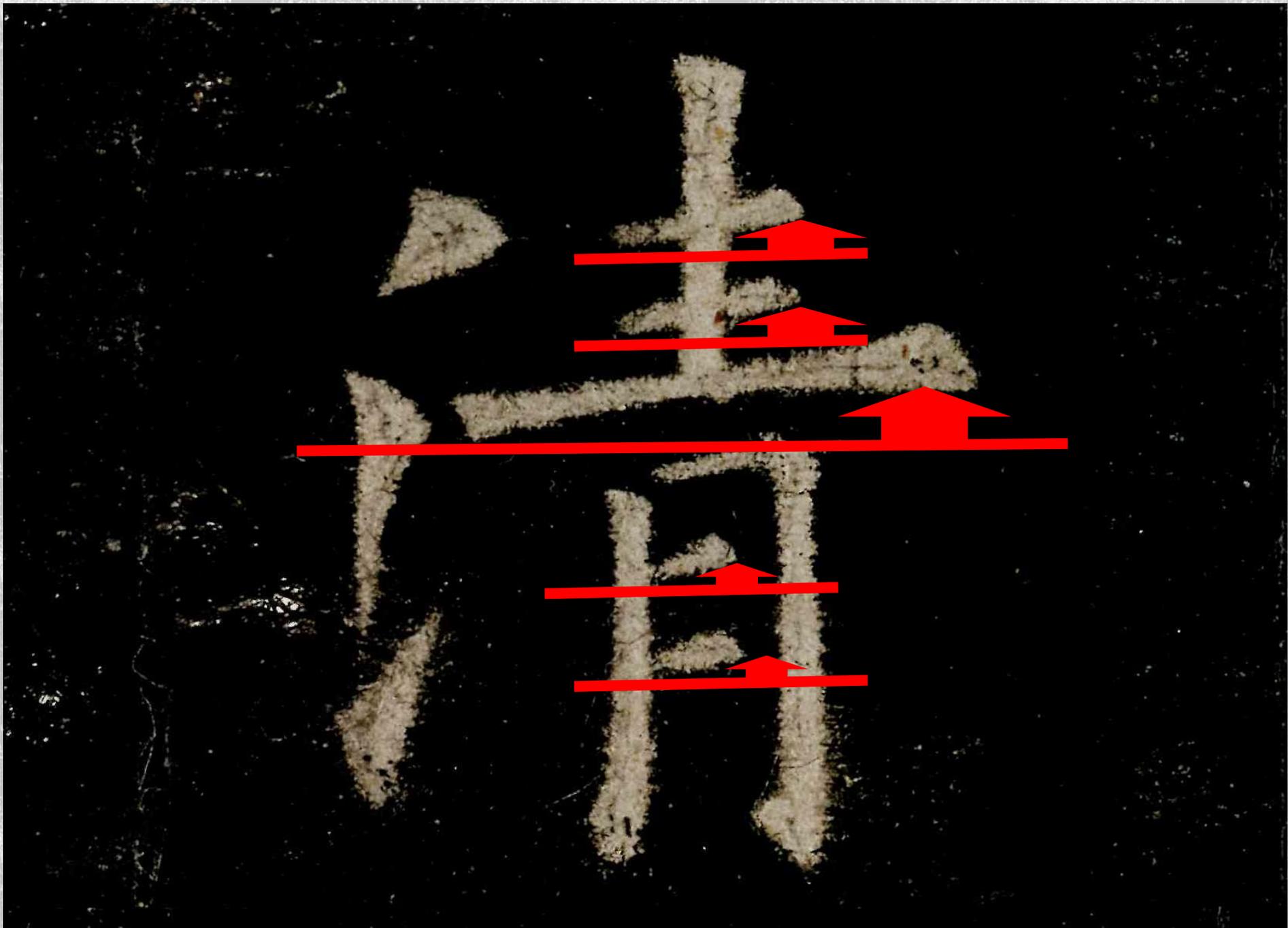


☆鑑賞ポイント

③横画の傾き

右上がり & 直線







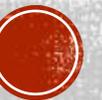
☆鑑賞ポイント

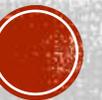
④縦画

内側に引きしまっている

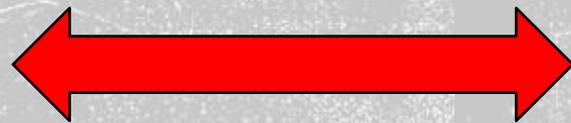
三背勢







《背勢》

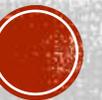


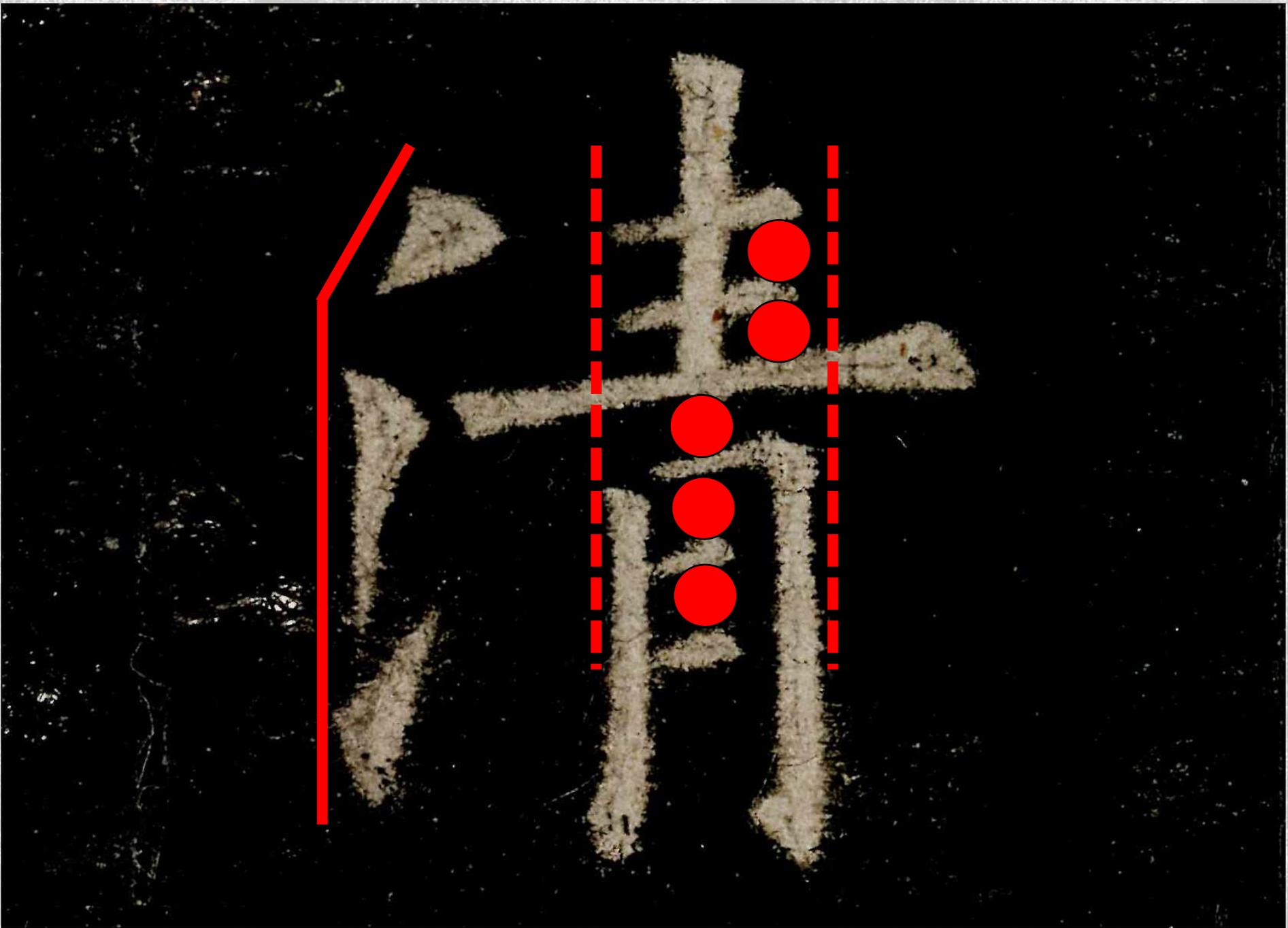
《向勢》

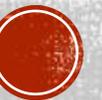
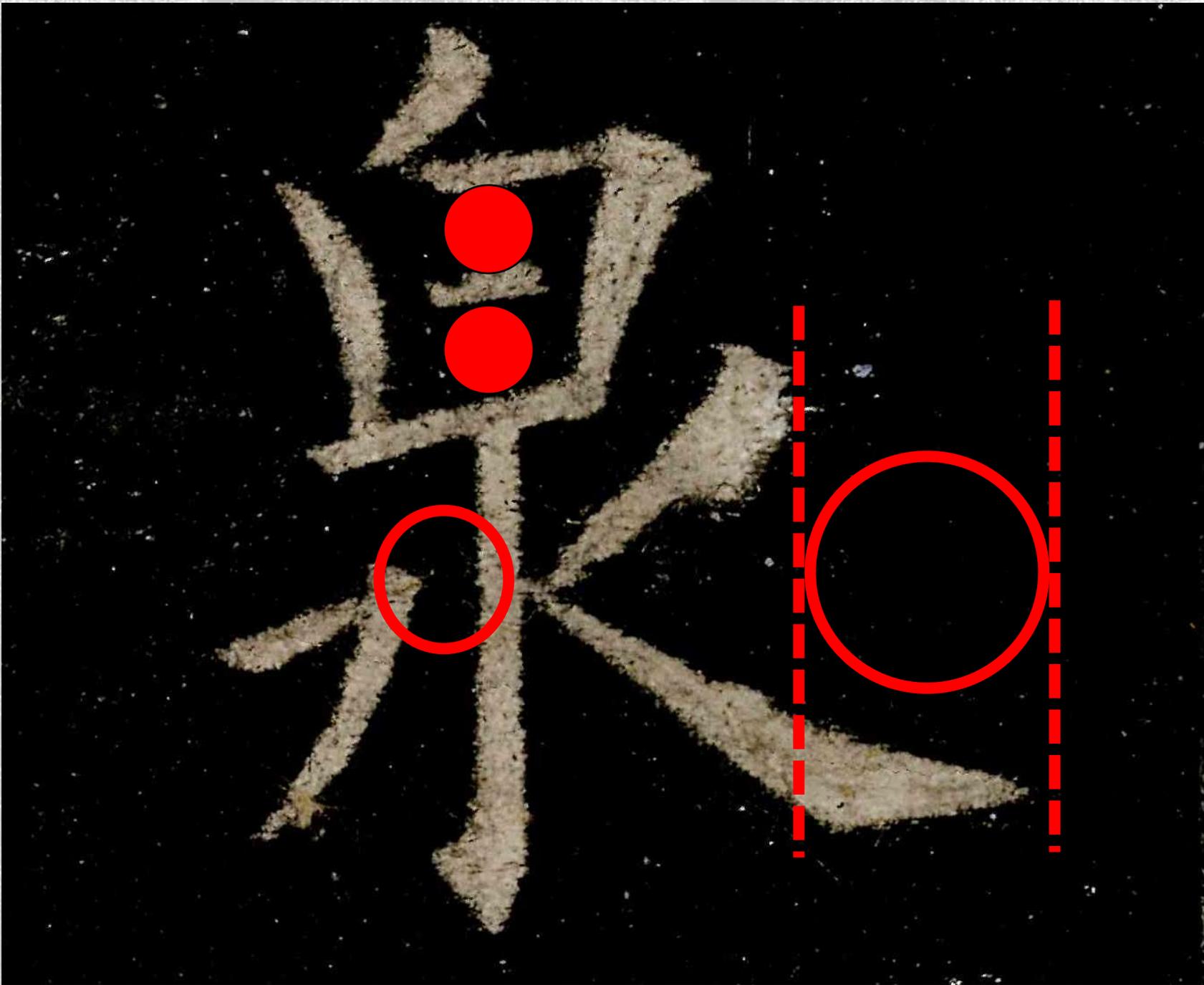


☆鑑賞ポイント

- ①字形 縦長
- ②起筆 45度
- ③横画 右上がり&直線
- ④縦画 内側に引きしまっている
=背勢



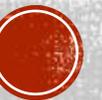




『九成宮醴泉銘』は楷書の典型として
高く評価されており、

楷書の極則

ともいわれている！



『九成宮醜泉銘』を
臨書しよう！

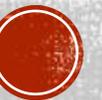


グループ鑑賞会



《鑑賞会のルール》

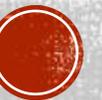
- ① 感じ方は人それぞれであること。
- ② 直感的に感じたことを、
根拠を踏まえて伝えること。



鑑賞のしかた

- ① 批評者の名前を記入
- ② 鑑賞ポイントを◎○△で評価をする。
- ③ 他者の作品の良いところ、改善点を記入する。

※必ず鑑賞ポイントのワードを入れて
コメントを書くこと！



鑑賞会でもらったコメントをもとに

改善点を記入しよう！



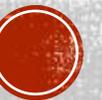
まとめ作品の制作



《本時の提出物》

- 学習プリント
- まとめ作品 1点

※教卓まで各自提出すること



《片づけ》

- 自分のは自分で片づけをすること
- 筆は手を使って墨が出なくなるまできれいに洗うこと！
 - 洗えているかチェックをします！
 - 洗えていなければ洗い直し！
- 硯は雑巾で水をきれいに拭き取ってから机に戻すこと

